

8月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

梅雨のじめじめした季節が過ぎると、暑い夏がやってきます。最近では、本格的な夏がやってくる前から、テレビの報道でも「熱中症で〇〇名が病院に搬送されました」などよく耳にすることがあります。ここ数年、コロナ禍で外出する機会も少なかったことで、この暑さに身体が慣れていなかったり、十分な水分補給もできなかった結果、体調を崩すこともよくあるようです。

また、この時期、まだ汗をかく体験が少ない故に熱が体内にこもり、急に体温が上がったり、嘔吐したりする子どもたちもいます。「暑熱順化」読んで字のごとく、体を暑さに慣らすことを意味しますが、この暑い夏も、適度に汗をかく機会も持ちながら、健康に過ごして欲しいと願っております。

幼稚園で子どもたちと歌っている7月と8月の讃美歌は、「あなたの平和の」という、例年クリスマス礼拝の時に讃美している讃美歌です。すべての創始者である神は、争いや憎しみにあふれた世界を救うために、2000年以上も前にイエス様をこの世にお遣わしになりました。そのような神からのメッセージが今もなお、私たちに訴え続けています。ロシアとウクライナの戦争もまだ収まる気配はありません。日本においても広島や長崎での原爆投下、そして終戦も8月に起こった出来事です。今の私たちにできることは、本当に限りなく少ないかもしれませんが、目を背けてはいけません。限りある力をどのように使っていくのか？そんなことを少しでも考えることができる8月を過ごしていきたいと思えます。

わたしを平和の道具にしてください
憎しみのあるところに愛を 争いのあるところに和解を
分裂には一致を 疑いには信仰を
誤りには真理を 絶望には希望を
悲しみには喜びを 闇には光をもたらすことができますように

わたしがあれこれ求めることをやめ
かえって慰められようとするよりも慰めることを
理解されようとするよりも理解することを
愛されようとするよりも愛することを望ませて下さい
＜アッシジの聖フランシスコ 平和を求める祈りより＞

【年主題】

『ともにつむぎだす』～希望の中で～

【年主題聖句】

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、
また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。
(エフェソ信徒への手紙2章17節)

8月主題 「やってみる」

聖句 「主よ、朝ごとに、わたしの声を聞いてください。」 (詩編5編4節)